

市原学校給食センター完成



全体完成は2025年春

千葉県市原市が整備していた「市原学校給食センター」が完成し、9月から調理場などを稼働させる。既存施設であった市原第二共同調理場を解体し、HACCPの概念に基づく衛生管理を徹底した学校給食を提供できる積層型施設が建設された。設計監理を久米設計、施工を鹿島が担当。東洋食品らが設立した特別目的会社（SPC）の市原学校給食サービスが管理運営する。



市原市長 小出 謙治

市原市は、房総半島の中央に位置する千葉県最大の368.16㎢の市域を有する広域都市です。これまで6つの学校給食共同調理場により、市立小中学校全61校の完全給食を実施してまいりました。

こうした中、施設や設備の老朽化の進行を踏まえ、子どもたちに安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、調理場全体としての質と量、コストの最適化を図る「市原市学校給食共同調理場再整備計画」を令和元年度に策定し、再整備を着実に進めてまいりました。

そして、この度、多くの方々の御協力のもと、学校給食衛生管理基準や食物アレルギー等に対応した新たな学校給食共同調理場「市原学校給食センター」が完成し、令和6年9月から全小中学校へ給食の提供を開始いたします。

子どもたちの健やかな成長を支えて

本施設は、鉄骨造地上3階建てで、1階は荷受室や配送室等、2階は給食調理エリア等となっており、食材の受入れから調理・配送まで、人や食材による交差汚染が発生しないよう作業区域を明確にゾーニングし、各室を適切に配置しております。また、最新の調理設備や食物アレルギー対応食の調理室を設置し、調理能力は最大13,000食/日(2献立)と、将来的に市内全小中学校に提供することが可能です。3階は給食に関する展示コーナーや調理を疑似体験できるコーナーなどを設置し、食育機能の充実を図りました。

この「市原学校給食センター」が、多くの方に親しまれ、市原市の未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えるとともに、食育の中心的な役割を担う施設になるよう引き続き取り組んでまいります。

結びに、施設の整備に当たり、御協力を賜りました全ての皆様へ心より感謝を申し上げます。

設計コンセプト

2022年3月に整備・運営事業者選定プロポーザルで東洋食品グループが特定され、6月に設計開始、2023年4月着工、その後15か月間の施工期間を経て、竣工(仮使用開始)しました。市原市教育総務部学校保健課をはじめとする多くの方々のご指導を賜り、本体完成に至ったことを厚く御礼申し上げます。設計コンセプトは、市原市の次世代を担う児童・生徒のため、

- ④自然災害に備え、機能維持できる施設整備
- ⑤SDGsへの対応推進

外観は、白とグレーを基調とし、搬入口、搬出口などにカラフルな色とサッシの黒色を使い、メリハリのある、清潔感を感じることのできる外観としました。内部からは、外の緑や青い空を感じられる高窓などを生かし、働き手に優しい建物とする

働き手に優しい機能性と次世代につながるものを作る建物

市の事業目的に対応した以下の五つを掲げ、基本重点項目として対応しました。

- ①適温給食と多様な献立に対応したおいしい給食を提供する積層型(3階建て)の給食調理場
- ②HACCPの概念に対応し、食物アレルギーの対応食などにもきめ細やかに給食提供ができる施設
- ③食育推進に向けた教育・研修環境の整備

ことを目指しています。機能性を追求するだけでなく、この建物が次世代につながるものを作るということをテーマとして設計を行いました。

株式会社久米設計 設計本部
医療福祉設計室 部長 小西 剛

施設解説

市原市に所在する学校給食共同調理場はこれまで、6カ所の共同調理場で、全小中学校(小学校40校、中学校21校)に対し、約22,000食の完全給食を提供してきた。施設の多くは開設後35年以上が経過し、最新の学校給食衛生管理基準に届かず、安全かつ安定的な給食の提供に対する懸念や、施設、設備等の老朽化による維持管理が課題とされていた。

その他の施設でもクラックが多く発見され、コンクリートの爆裂が今後懸念される。

施設内部、屋根・屋上、外壁、電気・機械設備とも大規模な補修、改修が必要と判断された建物のうち、【市原第二】は他の調理場に比べ食数が少なく、建て替え期間中は他の調理場への食数の振り分けが容易とされた。また、当該地は配送校が集

市内給食調理施設再整備の要として計画始動

市は安全・安心な学校給食を安定的に提供し、学校給食共同調理場全体としての質と量、コストの最適化を踏まえた再整備を進めるため、「市原市学校給食共同調理場再整備計画」を策定し、新たな給食センター整備を模索した。

各学校給食共同調理場の構造躯体の老朽化調査の結果、【市原第一】【市原第二】の鉄筋の発錆が進んだことによるコンクリートの爆裂、鉄骨の腐食が進行し、構造躯体の状況が悪い。

中する地域に立地しており、隣接する【市原第一】閉鎖後の敷地を合わせて整備することで提供食数の多い調理場への建替えが可能と判断された。この計画によって【市原第二】が解体され、跡地に新調理場が整備された。これから【市原第一】の建物解体が本格化し、2025年度には駐車場なども含め両敷地を統合した新たな施設が整う予定だ。

工事概要

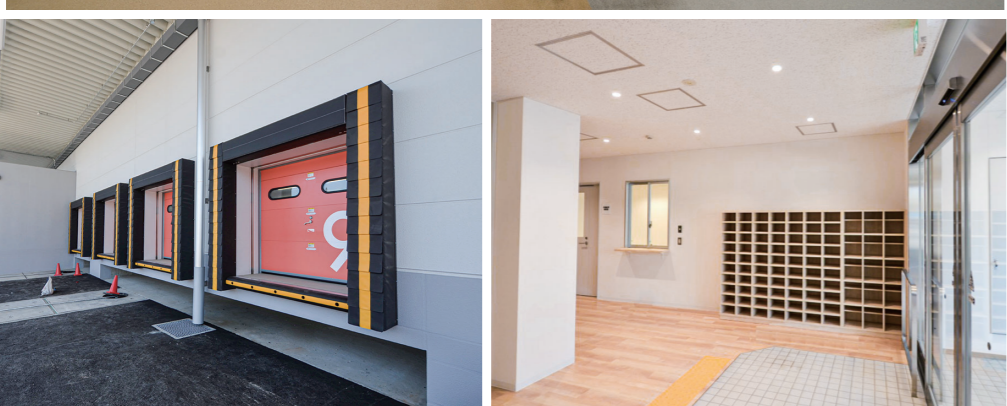
- 建物名称: 市原市新学校給食共同調理場
- 所在地: 千葉県市原市郡本1丁目4番地
- 事業主: 市原市
- 建築主: 株式会社市原学校給食サービス
- 設計・監理: 株式会社久米設計
- 施工: 鹿島建設株式会社
- 敷地面積: 8,005.14㎡
- 構造・階数: S造地上3階建て
- 建築面積: 2,851.74㎡
- 延床面積: 6,922.82㎡(容積対象面積6,654.65㎡)
- 工期: 2023年4月1日~2025年2月



見学のフロア



煮炊き調理室



トラックバース

エントランス

100年をつくる会社 鹿島

東京都港区元赤坂 1-3-1
電話 03(5544)1111

| | | | |
|---|--|--|--|
| 解体工事 株式会社 石井興業 千葉県山武郡芝山町大里 974 電話 0479(78)0026 | とび工事 鎌田工業株式会社 東京都中央区日本橋箱崎町 41-8 電話 03(3667)6696 | 厨房排水除害設備工事 株式会社 日本プラント 千葉県柏市しいの木台 4-11-14 電話 047(393)8621 | シャッター工事・鋼製建具工事 文化シャッター株式会社 東関東支店 千葉県若葉区都賀 3-33-23 電話 043(231)2100 |
| クレーン工事 石田重機株式会社 千葉県若葉区加曾利町 1603-31 電話 043(231)4731 | 電気設備工事 株式会社 サンテック 東京都千代田区二番町 3-13 電話 03(3265)6181 | 杭工事 ノザキ建工株式会社 千葉県美浜区新港 223-3 電話 043(243)0606 | 防水工事 三星産業株式会社 東京都足立区宮城 1-20-15 電話 03(3912)1262 |
| 衛生設備工事 株式会社 オカモト 千葉県市原市五井中央南 1-11-8 電話 0436(22)1188 | クロス・床・貼物工事 有限会社 装和 千葉県若葉区殿台町 289-1 電話 043(251)1670 | 型枠工事 株式会社 花谷建設 千葉県柏市藤ヶ谷 1439 電話 04(7193)5235 | 土工事・コンクリート工事 三裕建設工業株式会社 千葉県富里市七栄 489-49 電話 0476(93)8139 |
| 鉄骨工事 株式会社 カガヤ 岩手県盛岡市芋田字武道 9-95 電話 019(683)2620 | 厨房機器 タニコー株式会社 千葉営業所 千葉県美浜区稲毛海岸 2-1-28 電話 043(248)0791 | ALC工事・押出成形セメント板工事 株式会社 福山 東京都中央区日本橋大伝馬町 6-8 電話 03(6231)0234 | 鉄筋工事 株式会社 横内工業 東京都江戸川区南篠崎町 4-15-5 電話 03(3670)0881 |
| 配管・レンジ設置工事 鹿島道路株式会社 東京支店 東京都文京区後楽 1-7-27 電話 03(5802)8021 | 空調設備工事 東洋熱工業株式会社 関東支店 千葉県中央区富士見 2-15-11 電話 043(224)0931 | 金属製建具工事 不二サッシ株式会社 東京支店千葉営業部 千葉県中央区中央 1-11-1 電話 043(226)1251 | 金属工事 株式会社 リンクス 千葉県西街道市大日 2282 電話 043(497)3517 |